

入選

やさしい人たちに ささえられて

山口県 岩田小学校 3年 岩神 咲哉

夏休み前の一週間は、ほんとうにあつい日が続きました。一人で下校したとき、あせがいっぱい出て、風もなくてかげも少なくて、頭がクラクラするくらいの毎日でした。帰ってシャワーをあびて、エアコンの前ですずみながら、

「お母さん、明日もあついからむかえにきてね。」

と言うと、次の日むかえにきてくれました。こんなにあついんじゃあ、元気に帰れる自信がなかったなので、安心しました。

夏休みの前日、朝から頭やおなかがいなかったけれど、学校に行きました。学校でもっといたくなかったので、ほけん室で休みました。休んだら体調がよくなって、みんなと集団下校できるなと思いました。

でも、集団下校のとき、また体調が悪くなりました。お母さんにむかえにきてもらおうかと思ったけれど、「今日はむかえにいけない」と言っていたのを思い出しました。だから、ぼくはがんばって歩いて帰りましたが、もっといたくなってきました。同じ登校はんのみんなにはげまされながら、こども110番の家のところまでなんとか歩きました。家の人は、

「トイレかね。行ってきていいよ。」

と心配そうに言ってくださいました。登校はんのはん長さんは、

「トイレじゃなくて、岩神さんの体調が悪いから110番の家まで来ました。」

と言ってくださいました。110番の家の人は、

「車でおくってあげよう。早く乗りなさい。」

と言って、おばあちゃんの家までおくってくださいました。おばあちゃんの家にお母さんは、おばあちゃんといっしょに110番の家のおじさんに、何度もお礼を言っていました。

それからぼくは、お母さんといっしょに家まで帰りました。すると、げんかんの前でおねえちゃんがすわって待っていました。学校を出たあと、先生から電話があつて、

「体調が悪いので、帰り道むかえに行つてあげてください。」

という話だったので、心配で待っていたそうです。

ぼくはそのとき、地いきの人、同じ登校はんのみんな、家族、先生たちに思われてしあわせだなと思いました。みんながぼくのことを心配して、できることを考えてくれました。だから、次からぼくも、みんなのためにできることがあれば、進んで何かしてあげたいと思いました。

ぼくがおとなになったら、岩田小の子どもたちを守る「見守りたい」や「こども110番」の人になって助けたいと思います。岩田は、ほんとうにやさしい心の人がいっぱいいます。ぼくもやさしい心の人になって、いろんな人をしあわせにしたいと思いました。

みなさん、ほんとうにありがとうございました。